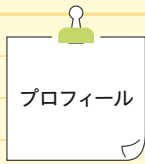


### 各地の職場から

今回は「京都府の経ヶ岬通信所」で勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

かつら  
桂さん

職種：社会関係（連絡）専門職

趣味：旅行、スキー



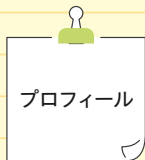
#### コメント

私は社会関係専門職（Community Relations Specialist）として米陸軍経ヶ岬通信所（京都府京丹後市）で勤務しており、主に地域での交流行事の企画・運営や広報を担当しています。今回、せっかくの機会なので経ヶ岬や京丹後市について紹介したいと思います。

まず、「経ヶ岬」は「きょうがみさき」と読みます。京都府といっても、あの有名な観光地京都市からは車で日本海方向へさらに約2時間以上、丹後半島の先端に位置し、まさに“陸の孤島”という表現がふさわしい場所にあります。その分手つかずの自然が多く残り、夏は沖縄の海よりも透明なんじゃないかと感じられる浅瀬、ドラマに出てくるような冬の日本海の荒波、息をのむような美しさの夕日、雨上がりの青い空に広がる虹など、かれこれ10年以上毎日通勤していますが、その変化に富んだ美しい光景に飽きることは決してありません。そして京丹後市は気候風土に恵まれ、高級ブランドで有名な“間人（たいざ）蟹”を含む豊富

な魚介類、米、野菜、各種フルーツなど食の宝庫でもあります。豊かな自然に囲まれ四季折々の旬の食材に恵まれた京丹後市は健康長寿の街としても注目されています。

そんな京丹後市に近畿地方唯一の在日米軍施設である米陸軍経ヶ岬通信所が設立されたのは2014年。以降、歴代の通信所司令・前任曹長のリーダーシップの下、赴任した兵士が“地域の良き隣人”となるべくイースター、ハロウィンといった文化交流行事、地元のお祭りや定期的な英会話交流行事、海岸清掃等ボランティア活動に積極的に参加し、地域の皆さまに好意的に受け入れられています。厳しい任務と並行して地域に貢献していこうという彼らの姿勢にはいつも感心させられます。ボランティア活動の参加時間や数、熱心さでは日本に駐留する米軍部隊では一番じゃないかと密かに誇りに思っています。米陸軍経ヶ岬通信所の一員として引き続き地域の皆さまの理解がさらに得られるよう、そして任務達成のために兵士・請負会社職員の支援に精進してまいります。



プロフィール

もり  
守屋さん

職種：管理専門職

趣味：筋トレ、バスケットボール



#### コメント

2024年9月に着任し、現在はビジター対応業務を中心に、兵士の方々が円滑に任務を遂行できるよう日々のサポート業務に努めております。ビジターセンターでの仕事は、基地の「顔」ともいえる最前線の仕事です。私の対応一つが基地の印象に繋がるという責任感と緊張感を持って日々の業務に励んでいます。

当初は、アメリカ人と働くのは初めてだったこともあり、言語面や文化の違いに不安もありましたが、周囲の温かいサポートのおかげで非常に充実した日々を送ることができています。

業務において私が最も大切にしているのは、積極的なコミュニケーションです。休憩時には、兵士と一緒にワークアウトに励むなど、業務外の交流も大切にしています。トレーニングのコツを

教えてもらったり、チキンをくれたりと、彼らの気さくな人柄に助けられることも少なくありません。

また、経ヶ岬通信所での勤務を機に、故郷である京丹後市に戻ってくることとなりました。通勤路は、ユネスコ世界ジオパークに認定された美しい景観の連続です。どこまでも続く青海原や雄大な奇岩など、毎日目にしても飽きることのないこの景色は、私の活力の源になっています。「海の京都」とも称されるこの場所の魅力を、ぜひその目で確かめていただければ幸いです。

地元出身者という強みを活かし、地域交流イベントにも積極的に参加して、地域と基地をつなぐ架け橋となれるよう精進してまいります。